

日本映画の新しいカタチ

開催期間：2016年3月25日(金)～27日(日)
会場：鎌倉市川喜多映画記念館

『くじらのまち』でPFF(ぴあフィルムフェスティバル)のグランプリとジェムストーン賞をW受賞した鶴岡慧子監督。ベルリンや釜山をはじめ世界10カ国以上の映画祭で上映され、高い評価を得ました。その後PFFスカラシップ作品として製作・公開された『過ぐる日のやまねこ』は、マラケシュ国際映画祭で審査員賞を受賞し、フランス・フォード・コッポラ監督から激励を受けました。また『くじらのまち』では助監督を務めた竹内里紗が、大学の卒業制作として監督した『みちていく』は、国内の映画祭で話題となり、こちらも全国の劇場で順次公開されています。

今回はそんな若き新進気鋭のフィルムメーカー二人の作品を上映します。

■協力：ぴあ株式会社 PFF 事務局
マジックアワー、シネマトグラフ



くじらのまち

2012年 / 70分
監督・脚本：鶴岡慧子 助監督：竹内里紗
出演：飛田桃子、片野翠、山口佐紀子

思春期のまばゆさをスクリーンいっぱいに散りばめ、光きらめくプールをひとり泳ぐ主人公のまち。失踪した兄を探し、女・男・女の仲良し三人組＝三角関係で旅に出る、ひと夏の上京物語。

過ぐる日のやまねこ

2014年 / 92分
監督・脚本：鶴岡慧子 出演：木下美咲、泉澤祐希

都会の喧騒から逃れて田舎町に辿り着いた時子と、山小屋で孤独にキャンパスに向かう陽平。寄る辺ない二人が小川のほとりで水をかけ合い、言葉を交えずとも共にする時間が愛おしく瑞々しい。



みちていく

2014年 / 89分
監督・脚本：竹内里紗 出演：飛田桃子、山田由梨

陸上部エースのみちると部長の新田。対照的な二人を中心に描かれる多感な少女たちの群像劇。主演二人の不安な面持ちや凛とした佇まいが、月の満ち欠けを象徴として際立った存在感をみせる。



※すべてブルーレイでの上映です。

日本映画の偉大な歴史の中で「幽霊譚」の系譜にある鶴岡慧子監督の『過ぐる日のやまねこ』は、寄る辺ない少年と少女の出会いを心震える物語に昇華した。
——フランス・フォード・コッポラ
(映画監督、マラケシュ国際映画祭審査委員長)

「消えて欲しくないから来たんだよ」という主人公のラストの台詞が心をつき刺す。まさか学生の卒業制作作品で涙するとは思ってもいなかった。不覚なり。——万田邦敏(映画監督)

<上映スケジュール>

3月25日(金)	3月26日(土)
11:00- くじらのまち	11:00- くじらのまち
13:00- 過ぐる日のやまねこ	13:00- みちていく
15:00- みちていく	15:00- 過ぐる日のやまねこ

3月27日(日)

11:00- みちていく
14:00- 過ぐる日のやまねこ+アフタートーク
ゲスト：鶴岡慧子監督、竹内里紗監督

ともに立教大学現代心理学部映像身体学科、のち東京藝術大学大学院映像研究科で学ぶ。現在も映画制作を続けている二人に、鎌倉までお越しいたください。



<料金> 一般：1000円
小・中学生：500円

<チケット発売日> 3月1日(火)
<チケットお問い合わせ先>
記念館窓口 0467-23-2500
たらば書房 0467-22-2492
島森書店 鎌倉店 0467-22-0266
上州屋(大船駅前の文房具店) 0467-43-1000

アクセスや地図、記念館情報は裏面をご覧ください。

Kamakura City Kawakita Film Museum
鎌倉市川喜多映画記念館